

科 目 名	芸術（書道Ⅰ）	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	書道Ⅰ（東京書籍）				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①コミュニケーション能力と自分で課題を発見し解決する能力を育成します。 ②各系列において必要な、基礎・基本の学力の習得を目指し、将来の進路実現に繋げる生徒を育成します。 ③個性を生かし、各系列で創意工夫や発想力を活かし、豊かな感性で新しいものを生み出せる生徒を育成します。 ④学んだことを生かしながら多様な人々と協働して、自らの意志で地域社会の発展に貢献できる生徒を育成します。 ⑤自分自身の心身の状態を理解し、他者への思いやりや、協働ができ、自己を高めようとする豊かな人間性や社会性を育成します。
カリキュラムポリシー	① 地域社会と積極的に連携し、協働する力や社会に役立とうとする意識を育成します。 ②「系列」に応じた様々な選択科目を設置し、生徒一人一人が主体的に興味・関心を広げ、力を伸ばす多様な選択を可能にします。 ③ 各系列での基礎学力の向上を目指し、個々の進路に応じた専門的な知識の習得を目指します。 ④「産業社会と人間」、「総合的な探究の時間」等の探究的学習や体験学習、教科横断的な学習によって深い学びを実践します。 ⑤各系列の多様な価値観や個性を持つ生徒との協働的な学びのフィールドを展開することで、他者を受容し開かれた自己を確立し、人間関係を築く力を育てます。

2 学習の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。 ① 書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基本的な技能を身に付けるようにする。 ② 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。 ③ 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3 指導の重点

・ 基本的な書写能力を高め、表現力・創造力を育成する。 ・ 古典の臨書を通じ様々な書風があることを知り、書的美の多様性と表現の技法を理解する。 ・ 身近な言葉を作品にし、書を愛好する心情を育て、創造的な表現力を身につける。

4 評価の観点の趣旨

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 書の表現の方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・ 書写能力を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するために必要な技能を身につけ、表している。	・ 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。	・ 書の伝統と文化と豊かに関わり、主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

4 評価方法

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・課題作品 ・ワークシート ・「学習記録」による学習過程	・課題作品 ・学習活動の様子 ・「学習記録」による学習過程 ・ワークシート ・「学習のまとめ」「取り組みの記録」の内容	・課題作品 ・学習活動の様子 ・「学習記録」による学習過程

6 学習計画

学期	単元名（教材名）	学習活動（指導内容）	授業時数	評価の観点	評価方法
4	書写から書道へ	・書写で学んできたこと 用具・用材 姿勢執筆法の確認	2	a b c	授業ノート
	漢字の書	・漢字の成立と変遷 ・古典に基づく学習 ・臨書の意味を理解し、関連する書道用語について学習する。	2	a b c	授業ノート 課題作品
5 6 7	唐の四大家	・欧陽詢「九成宮醴泉銘」の鑑賞と臨書 ・虞世南「孔子堂廟碑」の鑑賞と臨書 ・褚遂良「雁塔聖教序」の鑑賞と臨書 ・顔真卿「自書告身」の鑑賞と臨書 ・字形や用筆、運筆の特徴を確かめ古典を臨書する。	8	a b c	授業ノート 課題作品
	北魏の書	・「牛厥造像記」の鑑賞と臨書 「隅寺心経」	3		
	行書の特徴	・行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し練習する。 ・王羲之「蘭亭序」の鑑賞と臨書 ・顔真卿「争坐位文稿」の鑑賞と臨書 ・空海「風信帖」の鑑賞と臨書 ・行書の古典を臨書する意義について理解する。	8	a b c	授業ノート 課題作品
	草書の特徴	・「真草千字文」の鑑賞と臨書 ・草書が成立する過程や草書の特徴について理解する。	2	a b c	授業ノート 課題作品
	隸書の特徴	・「曹全碑」の鑑賞と臨書 ・隸書が成立する過程や隸書の特徴について理解する。	2	a b c	授業ノート 課題作品
	篆書の特徴	・「泰山刻石」の鑑賞と臨書 ・篆書が成立する過程や篆書の特徴について理解する。	2	a b c	授業ノート 課題作品
9 10 11 12	創作 古典を生かそう 書の美や風趣を味わおう	・漢字の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして創作し、相互評価する。 ・近現代の作品を鑑賞する。	4	a b c	活動の様子 創作作品 ワークシート
	篆刻と落款 創作	・落款の意味や種類について理解する。 ・篆刻の用具、用材や落款印の手順について理解する。 ・白文印または朱文印を制作する。	6	a b c	落款作成プリント 完成した落款
	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書の構成や表現方法を学ぶ。 ・自分で選んだ詩文を作品として完成させる。 ・友達の作品を鑑賞し、書の良さや美しさを自分の言葉で表現する。	10	a b c	活動の様子 創作作品 授業ノート

	仮名の書	・ 仮名の成立 ・ 仮名の筆遣い ・ 平仮名、変体仮名、連綿の理解 ・ 繰り返し練習し、古筆作品に取り組む足掛かりとする。	5	a b c	ワークシート 授業ノート 課題作品
1	古筆を学ぶ	・ 蓬萊切の鑑賞と臨書 ・ 古筆の用筆や仮名遣いの特徴を理解し、変体仮名の読み方を確認する。 ・ 高野切の鑑賞と臨書 ・ 関戸本古今和歌集の鑑賞と臨書 ・ それぞれの古筆を比較して表現の特徴や印象を話し合う。	8	a b c	授業ノート 課題提出 活動の様子
2	三色紙の散らし書き	・ 「升色紙」「継色紙」「寸松庵色紙」を鑑賞し、仮名作品の全体構成を学ぶ。 ・ 散らし書きの手法を理解する。	2	a b c	ワークシート 授業ノート
3	創作 (古筆を生かそう)	・ 学んできた古筆をもとに、散らし書きの作品を創作する。 ・ 出来上がった作品を鑑賞し合い、自分の言葉で表現する。	4	a b c	創作作品 授業ノート 活動の様子
	生活に広げる	・ のし袋など生活の中で使われている書について理解し、場面に応じて書けるようにする。	2	a b c	ワークシート

計 70 時間（50 分授業）

7 課題・提出物等

・ 臨書作品(毎時) ・ 創作課題 ・ 課題ごとに、取り組みの記録や感想を授業ノートに記入し、提出します。

8 担当者から一言

これまで学んできた書写能力をさらに高めるとともに、芸術書道の活動を通し、表現力・創造力を身につけていきましょう。生涯にわたり書を身近に感じ、社会生活の中でも生かしてほしいと思います。 (担当：鈴木 美里)
--